

印西市企画提案型協働事業 事業進捗確認シート

記入年月日

平成31年1月8日

1. 事業概要

事業名称		竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	
事業の実施者	実施団体名	NPO法人エコネットちば	
	所管部署	都市整備課	

2. 事業の進捗状況

	設問	回答			
		完了した	予定どおり	一部遅れている	遅れている
協働事業実施中	Q1 事業は当初のスケジュールどおり進んでいますか。		○		
	遅れが生じている場合は、その理由と今後の対応について記入してください。				
	Q2 事業は当初の計画どおり実施できていますか。		○		
	実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。				

自由記入欄

その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。

現在、季節ごとのイベントが定期的に行われ、定着しているので地域住民はもとより多くの方々のコミュニケーションの場として成長している。
 今後は、協働事業活動事業者会員の高齢化がありますので、後継者の育成にも取り組む必要があると思われる。

印西市企画提案型協働事業 事業進捗確認シート

記入年月日

平成30年12月28日

1. 事業概要

事業名称	印西市木下地区歴史講座		
事業の実施者	実施団体名	木下まち育て塾	
	所管部署	生涯学習課 文化係	

2. 事業の進捗状況

	設問	回答			
		完了した	予定どおり	一部遅れている	遅れている
協働事業実施中	Q1 事業は当初のスケジュールどおり進んでいますか。		○		
	遅れが生じている場合は、その理由と今後の対応について記入してください。				
	Q2 事業は当初の計画どおり実施できていますか。		○		
	実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。				

自由記入欄

その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。

今年度で企画提案型としての協働事業が終了する。
木下地区を活動拠点とする団体が、木下の蔵を活用して木下を中心とした地域の歴史講座を開催することは大変有意義であり、今後も市民に郷土の歴史に関する理解を深めてもらう必要があることから、次年度も引き続き木下まち育て塾への委託を予定している。

印西市企画提案型協働事業 事業進捗確認シート

記入年月日

平成30年12月28日

1. 事業概要

事業名称	道作古墳群歴史広場の維持管理事業		
事業の実施者	実施団体名	NPO法人 小林住みよいまちづくり会	
	所管部署	生涯学習課 文化係	

2. 事業の進捗状況

	設問	回答			
		完了した	予定どおり	一部遅れている	遅れている
協働事業実施中	Q1 事業は当初のスケジュールどおり進んでいますか。		○		
	遅れが生じている場合は、その理由と今後の対応について記入してください。				
	Q2 事業は当初の計画どおり実施できていますか。		○		
	実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。				

自由記入欄

その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。

今年度で企画提案型としての協働事業が終了する。
 平成24年策定の「道作古墳群整備基本計画」において、適正な維持管理は地域住民やNPO等の参加・協働を重視しており、次年度も引き続き小林住みよいまちづくり会への委託を予定している。

印西市企画提案型協働事業 事業進捗確認シート

記入年月日

平成31年1月7日

1. 事業概要

事業名称	地域住民への身体活動増進プログラムの提供		
事業の実施者	実施団体名	ALipro(アリプロ)	
	所管部署	健康増進課	

2. 事業の進捗状況

	設問	回答			
		完了した	予定どおり	一部遅れている	遅れている
協働事業実施中	Q1 事業は当初のスケジュールどおり進んでいますか。		○		
	遅れが生じている場合は、その理由と今後の対応について記入してください。				
	Q2 事業は当初の計画どおり実施できていますか。		○		
実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。					

自由記入欄

その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。

事業の運営が円滑に行われ効果・実績を上げるためには、協働事業担当課が事業に参画する市民活動団体が「印西市協働の手引き」に記載されている協働の取り組みチェックリストなどのチェックリストを用いて、協働事業を行う団体として適切であるか判断する必要があると思われます。

市民活動団体と事業を実施する担当課は協働事業を実施するにあたり、双方が「印西市協働の手引き」に記載されているとおり、双方の立場を十分に理解し、目的や理念の共有、協働のルールをが明確化されているかなどを十分に確認することが重要です。

市民活動団体と事業を実施するに対する第三者のサポートが得られることで、事業を円滑に進めることができるのではないかと思います。

印西市企画提案型協働事業 事業進捗確認シート

記入年月日

平成31年1月9日

1. 事業概要

事業名称		自主防災組織運営の知識の啓発・普及事業
事業の実施者	実施団体名	印西防災研究会
	所管部署	防災課

2. 事業の進捗状況

協働事業実施中	設問	回答			
		完了した	予定どおり	一部遅れている	遅れている
	Q1 事業は当初のスケジュールどおり進んでいますか。	○			
遅れが生じている場合は、その理由と今後の対応について記入してください。					
	Q2 事業は当初の計画どおり実施できていますか。	○			
実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。					
当初の予定では、自主防災組織や関係団体を訪問しヒアリングや説明会を実施するとしていたが、実施希望団体が多かったことや、団体間の横のつながりを持たせるためにも、個別の訪問ではなく希望団体を一堂に集めて説明会を開催した。					
自由記入欄					
その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。					

印西市企画提案型協働事業 事業進捗確認シート

記入年月日

平成30年12月26日

1. 事業概要

事業名称	イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業		
事業の実施者	実施団体名	NPO法人里地里山保全ねっと	
	所管部署	農政課	

2. 事業の進捗状況

	設問	回答			
		完了した	予定どおり	一部遅れている	遅れている
協働事業実施中	Q1 事業は当初のスケジュールどおり進んでいますか。		○		
	遅れが生じている場合は、その理由と今後の対応について記入してください。				
	Q2 事業は当初の計画どおり実施できていますか。		○		
	実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。				

自由記入欄

その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。

平成30年度より県単独補助事業として「イノシシ棲み家撲滅対策事業」が施行されたため、事業の成り立ちや目標は違うものの、刈り払い事業として重複する部分が多く、現在の事業体系のままでは今後継続が難しくなると考えられるため、次のステップに進めるよう協働していく必要があると思われる。

印西市企画提案型協働事業 事業進捗確認シート

記入年月日

平成31年1月4日

1. 事業概要

事業名称	武西の里山 保全と調査事業		
事業の実施者	実施団体名	NPO法人谷田武西の原っぱと森の会	
	所管部署	環境保全課	

2. 事業の進捗状況

	設問	回答			
		完了した	予定どおり	一部遅れている	遅れている
協働事業実施中	Q1 事業は当初のスケジュールどおり進んでいますか。	○			
	遅れが生じている場合は、その理由と今後の対応について記入してください。				
	Q2 事業は当初の計画どおり実施できていますか。	○			
	実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。				

自由記入欄

その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。

印西市企画提案型協働事業 事業進捗確認シート

記入年月日

平成30年12月28日

1. 事業概要

事業名称	みんなでつくる「木下街道膝栗毛」リターンズ		
事業の実施者	実施団体名	印西ふるさと案内人協会	
	所管部署	生涯学習課 文化係	

2. 事業の進捗状況

	設問	回答			
		完了した	予定どおり	一部遅れている	遅れている
協働事業実施中	Q1 事業は当初のスケジュールどおり進んでいますか。	○			
	遅れが生じている場合は、その理由と今後の対応について記入してください。				
	Q2 事業は当初の計画どおり実施できていますか。		○		
	実施できていない点があれば、その内容と今後の対応について記入してください。				

自由記入欄

その他、事業の展望や課題を含め、現状で気づいた点があればご記入ください。

本事業では木下・大森地区の歴史・文化を市内外の多くの参加者にPRすることができたとともに、様々な市民団体の連携・交流を図ることができ、参加者が定員に達しなかった点を除けば計画を超える成果をあげることができたといえる。

しかし、提案に基づいて実施団体と市との役割を明確にして契約を締結し、実施団体は全力を尽くして事業にあたっていたものの、所定の成果をあげるためには分担の枠を超える市のサポートが必要であった。今後このような大規模な行事を協働事業として行う場合、実施団体には同規模かつ同内容の事業を成功させた実績を求めるか、若しくは実施団体の役割をその団体に応じたものとする必要があると思われる。